

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
1	使命・役割・ テーマ・理念	地域づくりに貢献するということが、地域づくりにどうつなげていくのか。名より実を取った社会的要請を満たしていただくような総合博物館をお願いしたい。	A	新博物館は、県民・利用者みなさんが、博物館の活動の中で、地域に目を向けるきっかけを得、地域の魅力を再発見し、地域への愛着と誇りを育てることができるようにするとともに、その魅力を内外に発信することにより、さらに地域や三重への愛着と誇りを育てます。また、県民・利用者一人ひとりが各々の関心や生活課題にそって地域のことを知り、新たな地域づくりや地域課題の解決に取り組むことができる、地域発見・創造の場となります。
2	使命・役割・ テーマ・理念	多様性をどのようにとらえているのか。具体的に教えていただきたい。	A	三重の多様性については第2章 2-1 テーマのところにて記述したとおりです。今後は、県民・利用者みなさんとともに三重の特色である「多様性」を探求し、生かすことにより力にしていきたい。
3	使命・役割・ テーマ・理念	博物館の軸は展示より研究、収蔵である。	B	調査研究、収集保存、活用発信(創造交流・展示)はいずれも博物館の重要な活動ですが、「基本計画」では調査研究に関しては博物館活動の根幹と位置づけ、収蔵エリアの面積比率も他県の博物館の比べ高いものとなっております。
4	使命・役割・ テーマ・理念	県民が交通費を払ってでも行ってみたいと思う博物館にする必要がある。総花的なものより、もう少し三重県らしさでつくったらどうか。	B	三重をテーマにして、新しい“総合”の観点で博物館活動を展開するとともに、テーマ展示などを通して三重の特長をアピールしていきたいと考えています。
5	使命・役割・ テーマ・理念	博物館に入ったときに三重県らしさがわかる三重にこだわった博物館にしてもらいたい。	B	
6	使命・役割・ テーマ・理念	三重県全体の総合的な博物館へ行けば、三重県のことなら何でも把握できるというものを建設してほしいと思う。	B	
7	使命・役割・ テーマ・理念	この7つのポイントで是非やっていただきたい。	A	この7つのポイントを特色として、今後とも博物館整備を進めていきます。
8	使命・役割・ テーマ・理念	基本計画のとおり博物館が完成して機能すれば素晴らしいが、やはり具体的な絞り込みが少ないのではないかと。	B	基本計画では、新県立博物館の使命や理念に基づき、新博物館活動の基本的な考え方を取りまとめたものです。今後、県民みなさんのご意見を聞きながら、協創の視点で活動の内容について具体的な検討を進めてまいります。
9	使命・役割・ テーマ・理念	三重が持つ多様性が特徴ということだが、テーマを絞り込み、三重が一番大切にしているものを世界へ向けて発信するんだというようなテーマを掲げるのがよいのではないかと。	B	三重には自然や歴史・文化に関するさまざまな資産があり、それ自体を特徴とするか、絞り込むかについては、議論のあるところです。テーマについては、開館に向け、また開館後も振り返りながら検討を重ね、よりよいものにしていきます。
10	使命・役割・ テーマ・理念	基本計画の特色、使命は一般論であって、三重県の特徴が出ていない。これでは他県に変えてもいい。	B	
11	使命・役割・ テーマ・理念	大学の博士論文が書けるような施設であることが必要であり、同時に観光バスが立ち寄るような施設であるべきだ。	A	専門性をもった学芸員等を充実するとともに、文部科学省科学研究費補助金の申請研究機関としての立場を得るための検討を行うこととしています。また、観光で訪れた方にとっても魅力的な活動をめざすとともに団体利用者に必要な諸室やスペースの確保に配慮を行うこととしています。

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
12	使命・役割・テーマ・理念	多様性というものは力なんて持ってない。人間がいかに活用するかということになる。テーマと下の説明文が矛盾しているので、三重が持つ、あるいは三重の特徴の多様性を力に生かすということにしないとおかしい。	B	「多様性の力」については、今後、より具体的にわかりやすくお示しするよう工夫していきます。また、県民のみなさんとともに三重の多様性を探求することで、生み出される力を三重への愛着と誇りにつなげるとともに、他地域に向けたメッセージとして発信していきます。
13	使命・役割・テーマ・理念	この博物館の一番の売りは何なのか、知りたい。	B	博物館の活動を行っていく際に大切にすべきこととして、「ともに考え、活動し、成長する博物館」を活動理念としています。今後は、開館後の博物館活動はもちろんのこと、整備段階においても具体的に展開していきます。
14	使命・役割・テーマ・理念	中間案の本文に「郷土愛」というのを入れたらいいと思う。	B	「郷土愛」という言葉は、基本計画にはありませんが、同じ意味のことを、「地域への愛着と誇り」という言葉で記述しています。
15	使命・役割・テーマ・理念	博物館としての基本的な部分を忘れないでいただきたい。三重県の自然を基にして、自然を一番のキーワードにしておいて、そこに歴史、文化がのってくるということで考えて頂きたい。	B	自然と歴史・文化は切り離せないものであり、新しい“総合”の視点で活動を展開していきます。なお、県内には自然分野を専門とする博物館が少ないことから、自然分野の活動についても、できるだけ充実を図っていききたいと考えています。
16	使命・役割・テーマ・理念	自然科学に力を入れてもらいたい。アカデミックなことも、観光・物産的なことも必要である。	B	
17	使命・役割・テーマ・理念	総合博物館とのことであるが、総花的に展開し、どの分野にもというのではなく、一本筋が通った(中心となるものがある)ものにしてもらいたい。	B	
18	使命・役割・テーマ・理念	自然系のことで筋を通してほしい。文化も歴史も自然がベースとなっているものがある。	B	
19	使命・役割・テーマ・理念	三重県の自然は全国でも特有な位置を占めている。なんとしても、自然史の博物館が必要と思う。	B	
20	使命・役割・テーマ・理念	三重県というのは、いろいろな人文系の博物館は点々とあるけれども、自然系はまったくないということで、自然系を充実させてほしいと思う。	B	
21	使命・役割・テーマ・理念	CO2の削減にも力を注ぎ、次世代のために、生態系の勉強、自然に関する観察や体験、貴重な自然を守る活動に力をいれてほしい。	B	
22	使命・役割・テーマ・理念	県内には本当に自然系の人たちが集まる拠点施設がなく、次世代を育てる専門家といわれる人が高齢化しているので、次の世代を育てる場所として、自然系の博物館をぜひつくってほしい。	B	
23	使命・役割・テーマ・理念	28万点の所蔵資料のうち26万点が自然系のものであり、耐震性のない建物の中で十分保管ができず、また博物館活動が、特に自然系に関しては、完全に止まっていると言える状態。絶対に自然系の部分だけでも、博物館を整備する必要があると思う。	B	
24	使命・役割・テーマ・理念	ともに考え成長する博物館ということであったが、それは具体的にはどういったことになるのか。	B	「ともに考え、活動し、成長する」ということを新博物館の活動理念としています。この博物館のすべての活動に県民・利用者の方々にかかわっていただき、県民のみなさん、利用者の方々为主体的の活動を通して、新たな発見をし、知的探求心を高め、その中で、博物館も、一緒に考えながら、博物館自体も成長していくということです。成長するというのは、規模の拡大ではなく、質を高めていくことです。具体的な取組については、今後の博物館整備の中で示していきます。

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
25	使命・役割・テーマ・理念	県内に民俗歴史資料館はたくさんあるので、新博物館では、それらと重ならないような松阪牛の飼育方法など産業に関わる技術などを財産として残す産業科学博物館とすべき。	C	これまで三重県の博物館に55年にわたって、自然系、人文系のさまざまな資料や情報の蓄積がなされてきており、これらを生かした総合博物館としていきます。また、県内の博物館との連携による双方の活動の補完や充実を図っていきます。
26	使命・役割・テーマ・理念	スポーツ博物館であれば、全国にないので良いと思う。プロ野球のドラフト会議や全国高校野球選手権の抽選会を誘致するなどすれば、集客効果が高くなる。	C	三重を表す博物館としては、スポーツに特化した博物館の整備は考えていませんが、スポーツを企画展示のテーマとすることなど、展示等の取組は可能であり、今後検討していきます。
27	使命・役割・テーマ・理念	子どもが“体験”をできるゾーンなどを充実させて、子どもたちが興味をもってくれる博物館として欲しい。	A	教育委員会などとも連携し、子どもたちが楽しめる、その中でいろいろ実物を見たり、体験したりしていく博物館を目指したいと考えています。また、子ども会議(仮称)などを設け、子どもたちのアイデアや要望も取り入れていきます。
28	使命・役割・テーマ・理念	サポートスタッフには子どもたちも活動に参加しているが、こうした子どもを育てていくのが我々の仕事ではないかと思っている。	A	
29	使命・役割・テーマ・理念	広く県民が気軽にいけるような博物館として、子供が関心を持って、興味が広がるきっかけとなるようなことを、しっかりやってほしい。	A	
30	使命・役割・テーマ・理念	子どもたちが体験して、大人になっても行きたい、そういうリピーターができるような体験を重視したことをしてほしい。施設が小さくなっているのはマイナス効果、本来の博物館の目的をよく考えながら、子どもたちに自然の遺産などを継承していけるような博物館をつくっていただきたい。	A	
31	使命・役割・テーマ・理念	国の博物館には国の、県には県の役割がある。	A	基本計画では第1章において、県立の博物館として果たすべき役割を示しています。これに対して、国の博物館は全国的な視野あるいは地球規模の視野に立った高度な調査研究活動や全国規模の展示活動の展開、我が国の文化をリードする施設であると考えています。
32	使命・役割・テーマ・理念	県立博物館として、他県から来たいような、三重県らしい博物館、県民は必ず行ってほしい、そんな博物館がよい。	A	他地域との連携・交流の取組を通じて三重を発信し、新たな創造につながる役割を果たすことが、県立の博物館として果たすべき役割であると考えています。
33	使命・役割・テーマ・理念	三重県としての博物館がどうしてもいる、三重県民として誇れる、県外の方にも参加できるような博物館をつくってほしい。	A	
34	使命・役割・テーマ・理念	中央に新しい博物館ができたとしても、地方でそういうふうな(中央の新しい博物館のような)指導は行って、地方でそういう(中央の新しい博物館のような)いいものを見るような仕組みづくりも必要かと思う。	A	博物館の活動を館外に広げるアウトリーチ活動の一環として、県民・利用者のみなさんとの協創や、県内博物館や学校、公民館との連携により県内各地で展示をはじめとする活動を行うことにしています。
35	使命・役割・テーマ・理念	総合という意味が、私は非常に心配です。博物館というと、中では専門的に動いてもらわなければいけないと思いますので、そういう意味では、ちょっと心配しておりますが、基本計画にあるように、専門性を充実させてもらいたい。	B	新博物館は、三重の自然と歴史・文化に取り組む総合博物館として計画しているところですが、総合博物館としての力を発揮するためには、自然系・人文系それぞれの分野における専門性の確保が重要であると認識しています。このため、今後、検討を進めていく中で、必要な人員や施設の確保に向けて努力していきます。
36	使命・役割・テーマ・理念	公文書館は、どのようなものか。県庁の文書を中心に入れるのか、市町村のそういうものを入れるのか、また県史編纂の収蔵庫にあるものも入れるのか。	B	新博物館では、県庁で作成した公文書のうち、歴史的価値をもった文書を選別して、博物館の資料として収蔵するとともに、県史編纂さんの過程で収集した古文書等の歴史的資料や戦前の県庁文書も収蔵す

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
37	使命・役割・テーマ・理念	公文書館との一体化について、非常に興味を持っている。地元で文書を保存していくことは大変難しいので、三重県の中で中心的なものをつくり、指導なり、あるいは収集なりをしていただければ、本当にありがたい。	B	<p>ることとしています。市町の公文書については、現地保存を原則としてつ、各市町における公文書館機能整備の促進に向けて先導的な役割を果たしていきます。</p>
38	使命・役割・テーマ・理念	昭和30年に合併した村の書類が無くなっている。役場の職員は、保存期間が済んだらあわてて捨てる。これを何とか考えて欲しい。	B	
39	使命・役割・テーマ・理念	公文書館の資料は、図書館で一括すれば資料保存がやりやすくなるのではないが。	D	<p>公文書館の扱う公文書は、行政的な保存期限の終了後の公文書の中から後世に残す歴史資料としての価値のあるものを選別した歴史的公文書です。また歴史資料である古文書は、博物館でも扱われており、現博物館でも多数の古文書を所蔵しています。これらの歴史資料は、一般の書籍を主に扱う図書館ではなく、専門的な資料の保存と取扱に通じた博物館で扱う方が、より安全に保存でき、他の資料とともに閲覧利用のみならず展示などに幅広く活用をはかっていくことができることから、新博物館に公文書館機能を一体化させることとしたものです。</p>
40	使命・役割・テーマ・理念	歴史的公文書や古文書の保存は、役割分担の考え方により、図書館ですればよいと思うので、公文書館は、要らない。	D	
41	使命・役割・テーマ・理念	公文書館というのは、ここへ一体化する必要があるのか、120億円も掛けてやるのなら、これがなければ、もっと安い値段(金額)で、もっと充実したものができるのではないのか。	D	<p>公文書館機能を一体化させることにより、より多くの人々が、広く資料を活用することにつながると考えられる上、一体的に管理するほうが、効率的でもあると考えています。</p>
42	使命・役割・テーマ・理念	多様な資料の管理や収蔵スペース、そのために必要となる経費を考えると、公文書館と博物館との一体化は難しいと思う。	D	
43	使命・役割・テーマ・理念	防災を通して、地域の活性化や再生をすることを取り上げてもらいたい。	B	<p>新博物館は、地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献することを使命としており、防災に関しても県や市町の担当機関などと連携し、交流展示などにおいて、啓発活動と併せた取組を行っています。</p>
44	活動計画(調査研究)	調査研究ができる県内の方は高齢化が進んでいる。調査研究の機能と体制をどのようなかたちで進めていくつもりなのか。	B	<p>基本計画では、調査研究活動についての基本的な考え方をとりまとめましたが、今後、博物館整備を進めていく中で、具体的な内容や体制について、検討を進めてまいります。</p>
45	活動計画(調査研究)	大阪市立自然史博物館へ仕事で行ったことがあって、あそこの研究室はすごいなと思ったことがある。そういうものの大切さを子どもたちにも教えていかなければならないと思うので、そういうことも充実させてほしいと思う。	A	<p>教育委員会などとも連携し、子どもたちが楽しめる、その中でいろいろ実物を見たり、体験したりしていく博物館を目指したいと考えています。また、子ども会議(仮称)などを設け、子どもたちのアイデアや要望も取り入れていきます。</p>
46	活動計画(調査研究)	県民学芸員ということで、人材育成も踏まえながら考えて頂きたい。	B	<p>「県民学芸員(仮称)」については、三重の自然と歴史・文化などに關する専門的な知識や技術を持ち、博物館の調査や研究などの活動に参画する県民・利用者を想定して記述したものです。その具体的なあり方については、今後検討していきます。</p>
47	活動計画(収集保存)	展示物や材料が豊富な博物館には何度でも足を運びたいものがあるが、このような素材の収集をどのようにしてやっていくつもりなのか。	B	<p>新博物館には、現博物館の所蔵する約28万点の資料と、県史編さんグループが所蔵する約14万点の資料を引き継ぐこととしており、これらの貴重な資料を展示をはじめとする博物館活動に有効に活用できるようにしてまいります。また、三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全する観点から、新たな資料の収集保存にも努めてまいります。具体的な収集保存の取組内容については、今後検討してまいります。</p>

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
48	活動計画(収集保存)	貴重な資料(自然系)が消滅したり県外に流出したりしている。機動的に動ける学芸員の体制を整え、それらを食い止めるのが県の博物館の責務である。	A	新博物館では、三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かすことを使命の一つに掲げています。三重の貴重な資産が、衰退・散逸・滅失・絶滅するのを防ぎ、公開するなど幅広く活用できるように、関係機関や県民のみなさんと協力して保全に取り組む環境や体制づくりを進めてまいります。
49	活動計画(収集保存)	三重県の資料が他県に散逸しているため、そうしたことにならないようにこの計画を進めていただきたい。	A	
50	活動計画(収集保存)	県外へ情報や品物が流れないように、とりあえず収蔵できるような方法を考えて欲しい。	A	
51	活動計画(収集保存)	三重県ゆかりの品々が流出しているというケースがあるので、その資料を何とか保管、そして公開してほしい。	A	
52	活動計画(収集保存)	収集(資料?)は消えていくから、時間を争うと思うので、収集を大事にするという考えでやらないといけない。	A	
53	活動計画(収集保存)	収蔵するだけでどれだけのものがあるかわからないので、何を基準にして全部の部門の収蔵が可能で、他の県よりは多いから安心していいと思うのか不安である。	B	資料の収蔵については、自然や人文の各分野ごとの資料のあり方を勘案したうえで、できる限りスペースを確保できるよう努めているところです。今後、収集保存の基準を定めるとともに、他の博物館や文化施設等とも協議を進め、資料保存の役割分担や連携のあり方などについて検討してまいりたいと考えています。
54	活動計画(収集保存)	文学関係の資料の収集保存についても将来を見据えたうえで考えて欲しい。	C	新博物館では、三重の自然と歴史・文化を総合的に捉えた博物館活動を展開することとしており、収集保存活動にあっても、三重の履歴・ありようを理解するために必要な自然と歴史・文化に関する資料をその対象として位置付けています。文学関係の資料にも、さまざまな性格なものがあり、地域との関わり方もさまざまであると考えられますが、いずれも貴重な文化資産であると受け止めています。今後、全県的な視野に立ち、県内の博物館をはじめ図書館などの関係施設と協議するとともに連携した取組を行うなど、文学資料の適切な保存と活用のあり方についても、検討していききたいと考えています。
55	活動計画(収集保存)	文化の歴史を考えると、新博物館ではとても大事な事ではないかと思う。歴史の中でもとりわけ文学が後世へ遺産として大事にしていかなければならないので、資料収集について話し合いが可能かどうか知りたい。	B	基本計画は、新博物館の活動の基本的なあり方をとりまとめたものであり、今後、資料の収集保存活動をはじめ博物館活動の具体的な内容について検討を行ってまいります。そのような中で、文学関係資料の保存や活用に関わっておられるみなさんのご意見もうかがいながら、全県的な視野に立ち、県内の博物館をはじめ図書館などの関係施設と協議するとともに連携した取組を行うなど、文学資料の適切な保存と活用のあり方についても、検討していききたいと考えています。
56	活動計画(収集保存)	博物館が収集保存したものをいかに活用するか、県民にいかに活用してもらうかというところをいろいろ考えて頂きたい。	B	資料については、安全に保存するとともに、展示するだけでなく、資料に関するレファレンスや資料閲覧など、県民・利用者みなさんに、これまで以上に幅広く活用していただくこととしています。今後、収集保存や活用の具体的な進め方や内容について、検討を進めてまいります。
57	活動計画(収集保存)	収蔵庫を充実し、広い面積を取っている。公文書館の併設ということであり、まず資料収集活動を最初にしてほしいので、この方針で良いと思う。	A	収蔵エリアの確保については、現段階の想定においても、公文書館機能の一体化させることも含めて、できる限りスペースを確保できるよう努めているところです。今後の具体的な検討の中で、できる限り効率的な収蔵環境を確保できるよう努めてまいります。

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
58	活動計画(収集保存)	三重県のは三重県で、特に貴重なものは保管できるような体制というか、それは、ぜひつくっていただきたいと思います。	A	収集保存にあたっては、現地保存を原則としつつ、県立の博物館としての役割を果たす観点に立ち、県内博物館や関係機関などと連携・役割分担のもと最前の方法をとることとしています。
59	活動計画(収集保存)	全国と比較して十分な収蔵庫というが、人文系、自然系、公文書と3分野が入れば十分とはいえないのではないかと。	B	収蔵エリアについては、厳しい財政事業の中ではありますが、三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える博物館としての役割を果たせるよう、できる限りスペースが確保できるよう努めているところです。ご指摘のように、さまざまな分野の資料を扱うことから、それぞれに十分な収蔵エリアを確保していくことは容易ではないと考えていますが、今後の具体的な検討の中で、総合的な観点に立ちながら、できる限り効率的な収蔵環境を確保できるよう努めてまいります。
60	活動計画(交流創造)	「協創」という字引をひいてもない、この立派ないい言葉を、どのように具体的にしていけるのか。「協創」をどう具体的にしていけるのか教えてもらいたい。	B	「協創」の視点は、調査研究活動、収集保存活動、活用発信活動などのすべての博物館活動を県民・利用者に関き、ともに活動することにより「文化と知的探求の拠点」としての博物館をみんなでつくり上げ、発展させていくこととして位置付けたものです。そのための中核となる場として、博物館に交流創造エリアを設けることによって、展示を鑑賞するだけでなく、県民・利用者みなさんとともに、三重の自然と歴史・文化に関する活動を展開させ、さらにこのような活動を地域へと広げていきたいと考えています。すでに現博物館において、このような観点に立ち活動を展開しているところですが、今後、作成する事業実施方針に基づき、さらに具体的な取組を検討してまいります。
61	活動計画(交流創造)	金沢の21世紀美術館では、観光と密接に連携している。交流創造エリアのスペースを確保することはよいが、中味を具体的に検討する必要がある。	B	交流創造エリアは、展示を鑑賞したり、講座や講演会などの行事に参加するだけでなく、県民・利用者みなさんに主体的に三重の自然と歴史・文化に関する資料や情報を活用していただける場としていきたいと考えています。また、観光に訪れた方にとっても魅力的な活動をめざすとともに、三重の魅力を伝え全国にも発信するような博物館づくりを進めていきます。
62	活動計画(交流創造)	展示物に踏み込んだ説明がされ、ウィキペディアのようにみんなが書き込むことで、みんながつくりあげる博物館、資料、データを織り込んでいけば、より豊かなデータベースが出来上がってくるのではないかと考えている。	B	新博物館で博物館の3つの基本的活動の一つとして位置付けた活用発信活動では、展示活動も含めて、三重の自然と歴史・文化に関する情報を県民・利用者みなさんと双方向的に受発信する活動としていくこととしています。今後、ご提案の観点もふまえて、具体的な活動の内容を検討してまいります。
63	活動計画(交流創造)	災害文化を子どもたちと学習する場にしたい。	B	新博物館では、三重の自然と歴史・文化を総合的に捉えることとしていますが、災害は、自然と歴史・文化と密接に関連したテーマであり、災害の歴史に学び、災害に備えるための糧とすることも意義の高いことと認識しています。今後の具体的な検討の中で、ご提案の趣旨を生かした博物館活動のあり方について検討してまいります。
64	活動計画(交流創造)	交流創造エリアで、民間の人が集まって入札(オークション)などができるような機会も設けて欲しい。	C	交流創造エリアでは、県民・利用者みなさんが、三重の自然と歴史・文化に関する資料や情報を活用して、主体的な活動し交流していただく場としていきたいと考えています。なお、ご提案のような用途も含め、交流創造エリアの具体的な活用のあり方については、今後、検討してまいりたいと考えています。

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
65	活動計画(交流創造)	いつでも無料で入れて、まずは来てもらえるところをつくり、子どもが興味をもつ体験コーナーや立体パズルを置き、無料で託児できる場所があると、子供がいる家族でも楽に来られる。休憩するところもあるといいと思う。	B	新博物館では、三重の未来を担う子どもたちの育成の場となる役割を果たすことを使命の中に位置付けており、子どもから大人まで、だれもが楽しみ何度でも訪れたいような博物館をめざしています。ご提案の点についても、子ども会議(仮称)も開催するなど、子どもたちの意見も伺いながら、今後、具体的な検討をまいります。
66	活動計画(交流創造)	自由研究のできるいい博物館であってほしい。	A	新博物館では、三重の未来を担う子どもたちの育成の場となることを使命の中に位置付けています。三重の自然と歴史・文化を扱う新博物館として、ご提案のような自由研究のできる博物館としての役割を積極的に果たしていきたいと考えています。
67	活動計画(交流創造)	自分たちが地域で講座を開くなどについて相談したときに、気楽に相談を受けられるような対応をお願いしたい。	A	新博物館では、交流創造の活動として、三重の自然と歴史・文化に関する興味や関心、学習や研究、活動など、さまざまなニーズに対して、レファレンス(情報源の提示や質問への回答)、情報の受発信、資料の閲覧、学習交流プログラムなどの機会を提供していくこととしています。ご提案のような点についても、積極的に取り組みたいと考えています。
68	活動計画(交流創造)	博物館に行けば、聞きたいことがわかるような機関にしてもらいたい。	A	
69	活動計画(交流創造)	学芸員の方と県民の方の距離が近く、相談できる博物館であるところが良いと思う。受付が声をかけやすい雰囲気であると良いし、展示してある資料などが、写真で見ることができ、インターネット検索ができるとう良いと思う。	A	
70	活動計画(交流創造)	利用者としては、民間のサービスも向上しているし、親切に案内する人がいて、バックには学芸員があり、正確な知識を得られるような体制ができていることが利用者にとって一番良いのではないかと。	A	
71	活動計画(交流創造)	ぼんと入ると博物館全体の構構が分かる。ちょうど病院でいうと、何科の部長は誰でというような一覧表みたいなのがあって、学芸員の方の対応が非常によかったらよいと思う。	A	
72	活動計画(交流創造)	子どもから大人までの、生涯学習の中でいろいろ指導してもらおうとか、一緒になっているんなことを考えてもらうかというような対応を気軽にやっていただきたい。	A	新博物館では、交流創造エリアを設けるなど、県民・利用者のみならず、それぞれの興味や関心に応じて、世代を越えた活動や交流をしていただきたいと考えています。ご提案のような取組についても積極的に取り組んでまいります。
73	活動計画(交流創造)	自然に対する思いはあっても、正しい知識がないために間違った自然保護をやっているということが結構ある。それを正していくことは、個人の力ではできないので、博物館が正しい知識や生態系のことを教える場となってほしい。	A	学芸員については、自然系・人文系の各専門分野や各分野を横断する横断する分野のほか、三重の資産保全の推進など多様な専門分野に対応できる職員を配置する予定です。また、交流創造エリアは、職員や県民・利用者のみならずが世代を越えた活動や交流を行う場としたいと考えています。
74	活動計画(交流創造)	参加型の展示や講座を地方でもやってほしい、博物館の持っているいろいろなノウハウ、一般住民の体験学習とか、みんなが私も参加したいという形を何とかできればよいと思う。	B	県民・利用者のみならずの興味や関心を深められるよう、移動展示や講座、フィールドワークなど、さまざまなアウトリーチ活動の展開を工夫していきます。
75	活動計画(交流創造)	市町村には図書館というのがたくさんある。けれども、地元の研究をされた本は館の中に死蔵された状態で、表に出てくるような図書館や資料館というのはなかなかない。そういうものが見られるような状態をつくって欲しい。	B	三重の自然と歴史・文化の資産の保全と活用という観点から、ご提案をふまえた展開を検討していきます。

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
76	活動計画(展示)	例えば個人の化石コレクションを展示したり、互いに情報交換・交流ができるような場所にして欲しい。	A	基本計画でも、テーマ展示の中に「交流展示」を位置付け、県民との協創交流展や他機関などとの連携展、県諸施策との連携展など、多様な実施主体とともに双方向・交流型の展示活動をめざすこととしていきます。ご提案のような展示についても、博物館に関するものであれば、県民との協創交流展の一つとして想定できるものであり、積極的に取り組んでまいりたいと考えています。
77	活動計画(展示)	愛好家グループを巻き込んで展示ができるようにしてほしい。	A	
78	活動計画(展示)	グループあるいは団体で美術や工芸の展示を、名古屋や京都の博物館を使って行っているが、新博物館でも、このような展示スペースの計画があるのか。	B	
79	活動計画(展示)	神社、お寺とそれを結ぶ街道をつなげ、本当の意味で調査して流れがある常設展を作ってもらいたい。日本全国につながるものが伊勢にあるということを、展示の目玉にしてほしい。	B	ご意見をふまえ、展示計画を行う上で検討していきます。
80	活動計画(展示)	名古屋市の科学館で計画が進められている生命館、科学館、宇宙館のような展示コーナーが設けられる予定はあるか。	D	基本展示においては名古屋市科学館のような常設の展示は予定しておりません。テーマ展示などではそのような要素も含めて今後検討していきます。
81	活動計画(展示)	奈良や京都など国立博物館の巡回展や職員の連携ができる博物館としてもらいたい。	B	全国や世界の博物館等と連携し、三重を発信し、新たな創造につなげることは県立博物館としての役割であると考えています。また、テーマ展示では全国巡回展の開催も検討していきます。
82	活動計画(展示)	学校教育の中でも、手薄になる近現代史を常設展示するなど充実してもらいたい。	B	ご提案については、基本展示と連携させながら、テーマ展示等での展開を検討していきます。
83	活動計画(展示)	基本展示で、三重の歴史が十分にわかりかねる。考えてもいなかったような歴史があるということを認識いただきたい。	B	
84	活動計画(展示)	山梨県立博物館では食文化に関する企画展にあったが、博物館で扱う歴史的遺産の中に、食文化、郷土食の視点というものがあるのか。	B	
85	活動計画(展示)	伊賀の特殊性を理解いただいて、一つの階か、一つの伊賀のブースを設けて頂きたい。	B	
86	活動計画(展示)	三重の歴史的遺産である谷川土清を基本構想の中に取り入れて欲しい。土清の旧宅を移築して記念館として全国に誇れるようにしていただきたい。	B	
87	活動計画(展示)	河南省との姉妹提携がある。河南省のことを展示すべきではないか。	B	
88	活動計画(展示)	郷土料理など、三重県独自の生活観を伝える。集めてきて展示するなど、子供たちが、過去を見て、新たな未来のアイデアを見つけるよう、お願いしたい。	B	

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
89	活動計画(展示)	価値観は多様であるので、一人ひとりが博物館に行つて、三重県ではこれが素晴らしいということを見つげられる展示してほしい。	B	新博物館は、県民・利用者がのみなさんが主体的に関わっていただく博物館をめざしています。ご意見の内容は非常に重要な考え方であり、今後とも博物館での活動の展開を検討していきます。
90	活動計画(展示)	三重県のアイデンティティ、三重県というものを残す内容の展示をお願いしたい。	B	県民・利用者みなさんとともに、三重の魅力や特長を探索し、育んでいく博物館をめざします。今後とも、ご意見をふまえ、博物館での活動の展開を検討していきます。
91	活動計画(展示)	総合博物館では、今まで有していた大切なことが薄れてしまうのではないかと非常に危惧している。三重県は豊かな自然遺産を持っているといいながら、博物館にそれだけの展示がされるだろうか、それだけの展示はしてほしい。	B	基本展示とテーマ展示を組み合わせながら、ご意見をふまえ、三重の豊かな自然について気づく展示の展開を検討していきます。
92	活動計画(展示)	ただ研究だけでなく、文化というのは幅広いものだと思うので、県民の人たちにもっと紹介するような場として、客を呼んで、できるだけたくさんの人に見てもらふ企画を、ぜひお願いしたい。	B	調査研究の成果を幅広く活用・発信できるよう、ご意見をふまえ、博物館での活動の展開を検討していきます。
93	活動計画(展示)	インターネットの普及もあって、そこから広い知識が得られるではないかというお話もあったが、生ものを間近で見られるというのは、とても大事で、子どもにとっても非常にいい刺激だと思うので、ぜひそのような博物館をお願いしたい。	B	基本展示やテーマ展示に加え、実物図鑑的な展示である分類展示や五感を使って三重の自然と歴史・文化や博物館の活動を体感できる体験展示などを設置します。また、施設のスペース上、大々的に生きものの飼育を行うことは想定していませんが、小規模な展開は今後検討していきます。
94	活動計画(展示)	淡水魚の飼育も必要ではないかと思う。	C	
95	活動計画(展示)	たくさんの資料により、自分の地域のものを発見でき、自分たちが住んでいるところのものであるというアピールが、展示にあったらうれしいと思う。	B	博物館の展示や交流創造などの活用発信活動を通じて、地域への愛着と誇りを育むことができる取組を行っていきます。
96	活動計画(展示)	良い企画展示があると行きたいと思う。	B	多彩な展示を提供するテーマ展示を充実させ、県民・利用者のみなさんが興味関心のある展示の企画を計画していきます。
97	活動計画(展示)	目玉になるような企画展が年に何回かあると、足を運ぶのにいいと思う。	B	
98	活動計画(展示)	展示で剥製などが随分古く、現在の実物と違うという感じを受ける場合があるので、それではいけないと思う。	B	展示の意図が正確に伝わる工夫を行っていきます。
99	活動計画(展示)	三重県を代表する鳥羽竜の化石、オオサンショウウオの標本をメインにし、ニホンカモシカのセンターの既存資料などほかの県にない資料を展示すればインパクトがありいいと思う。	B	博物館の活動が、地域の魅力を再発見し、地域への愛着と誇りを育むことにつながるよう、三重を代表するトバリユウなどの資料をはじめとする三重の自然と歴史・文化に関する資産についての展示や情報の発信を行っていきます。
100	活動計画(展示)	里山林があるが、山林だけではなく、湿地、池があれば、水生の動植物も生息できる、と言うことがある。公園的なものも配置してもらえると、人が休息できる。	B	博物館敷地内の里山林については、野外展示として自然観察や里山保全・再生活動に取り組んでいきます。なお、具体的な内容については、設計段階で検討していきます。
101	活動計画(展示)	野外展示も新しい発想だと思う。いろんな植物や昆虫とかも観察できるような部分があれば、もっと入りやすいのではないかと思う。いわゆる公園みたいな形を提示してもらえば、もっといいのではないかと考えている。	B	

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
102	活動計画(展示)	地方のほうへも目を向けてもらって、移動展示をしてもらえるような仕組みができればよいと思う。	A	博物館の活動を館外に広げるアウトリーチ活動の一環として、県民・利用者のみなさんとの協創や、県内博物館や学校、公民館との連携により県内各地で展示をはじめとする活動を行うことにしています。
103	活動計画(展示)	地域に移動して貴重品を見せてもらったり、こっちに来てもらう機会があれば、非常にありがたい。	A	
104	活動計画(展示)	多様などというのは、たくさんいろいろなものが展示されて楽しくなるのかという部分と、やはり専門性ということがあるのかと思う。三重県の博物館に行ったら、これがすごく分かるといった、一つ幹となるものがあるのではないかという気がする。	B	三重の自然と歴史・文化に関する博物館活動とおして、三重が持つ「多様性」を探究し、生かすことによって生みだされる力を三重への愛着と誇りにつなげるとともに、三重から他地域にむけたメッセージとして発信していくことが、新博物館の幹となるものと考えています。
105	活動計画(展示)	博物館敷地の里山の保存にも今から取り組むべきである。	A	開館までに、少しずつ計画的に取組を進めていくこととしています。
106	活動計画(展示)	博物館は楽しいところでなくてはならない。身体を動かしてみんなで楽しもうという部屋をつくってほしい。	A	体験展示や野外展示など誰もが気軽に訪れ、楽しめる博物館をめざします。ご意見をふまえて、今後の検討を進めます。
107	県民・利用者との協創	サポートスタッフの活動は、交流創造エリアの中の調査研究とか、学習プログラムで自分で考え企画してこれからやっていくんだというところにまさしく整合していると思った。県民が博物館活動に参加していくときにちゃんと活動できるスペースや設備を準備してほしい。	A	基本計画でも、既に活動を展開している現博物館の「みんなの博物館サポートスタッフ」などの取組を、新博物館における協創の活動につなげ、発展させていくこととしています。新たに設ける交流創造エリアでは、ご提案のような県民・利用者のみなさんの主体的な活動に必要な部屋や施設を備える計画となっています。今後、これらの具体的な内容について、県民・利用者のみなさんからのご意見もうかがいながら検討を進めてまいります。
108	県民・利用者との協創	人材については、ボランティアでもいいから、幅広い年齢層の人を加えるべきである。それであって初めて博物館というのは機能する。総合博物館でもありどのようにする予定か。	B	ボランティアや友の会をはじめとした協力支援組織や運営協議会などのあり方については、今後検討していきます。
109	県民・利用者との協創	配置される学芸員等で足りない部分があれば、シニアやボランティアを大いに活用すべきではないか。	B	
110	連携	県内の博物館との協調性、ダブるところをどのようにこなしていくのか。	B	専門性・地域性の高い県内の各博物館と、高い総合性をめざす新博物館のそれぞれの特色を生かし、相互の資源や機能を利用しあうことによって、それぞれの活動の幅を広げ、魅力を高めるための連携活動を展開します。今後、連携方法を具体的に検討していく上で、効果的な展開を図っていきます。
111	連携	いろいろある博物館との連携で、同じような内容をするのか、あるいはそれぞれとタグを組んでやるとか、そういう連携を意味しているのかを教えてください。	B	
112	連携	三重県に人文系の博物館は結構あるので、それらとの役割分担や棲み分け、相違づけどのように図るのか。	B	
113	連携	県内博物館とのネットワークについて、強化してもらいたい。	B	

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
114	連携	移動博物館により、伊勢に県立博物館の資料を持ってきてもらい、地域にある資料館にはもう少し展示品を充実する必要があると思うので、そのあたりを連携し、地域活性化につなげてほしい。	B	
115	連携	子どもに小さいときから博物館へ足を運ぶ習慣をつけることが、博物館活動をより発展していく上で、とても大事なことだと思う。所管が知事部局へいってしまうと、教育委員会との連携が難しいとも思うがどうか。子どもが博物館へ足を運ぶようにしなければならないと考えるが、教育委員会との連携はどうなっているのか。	B	学校教育との連携は重要と捉えており、今後、学校現場や教育委員会などとの具体的な連携方法について、検討していきます。
116	連携	学校教育の一環として利用できるような施設にしてほしい。	B	
117	連携	博物館利用に関し、意識的な教師がいないと、学校は博物館に行かない。	B	
118	連携	学校との連携をすれば、もっと学術的に楽に研究できるのではないかと思う。	B	
119	連携	放課後クラブという発想はいいが、指導できる教師がいないと難しい。	B	
120	連携	学校の社会見学などで、博物館は、見に行くだけのものじゃなくて、見に行く前からの勉強というのも大事と思うので、そういった取組もお願いしたい。	B	
121	連携	学校が遠足などで利用できるようにしてもらいたい。展示を変えていただく方が、生徒もどんどん目先が変わってありがたい	B	
122	連携	県内の研究機関との連携、市町との情報交換によるデータの蓄積を一元的に、中心となる機関となってほしい。	B	多様な主体との具体的な連携方法や情報の受発信などについては、今後検討していきます。また、図書館、美術館など県の文化振興拠点とも連携し「文化と知的探求の拠点」のひとつとしての役割を果たしていきます。
123	連携	行政の中の縦割りを見直し、もう少し連携して深めてほしい。情報発信の場を共有できるような部局をつくっていただきたい。	C	市町・県の行政・関係機関との連携活動について、今後具体的に検討していきます。また、図書館、美術館など県の文化振興拠点とも連携し「文化と知的探求の拠点」のひとつとしての役割を果たしていきます。
124	連携	他県との情報共有もお願いしたい。	B	他県の博物館とのネットワークなど、全国的な視野での連携体制を検討していきます。
125	連携	津に大きなセンター博物館ができれば、その連携というのもなんですけれども、津で紀北なり尾鷲の郷土史を紹介するような展示をしていただいたり、尾鷲のまちかど博物館で展示されたものを、津の博物館で展示して、PRしてもらおうような、そういった地域づくりに貢献するようなメニューも、いろいろやってもらえばよいなと思っている。	B	新博物館では、三重県全域を博物館と捉えて、館内にとどまらない博物館活動を展開することとしており、ご提案のような活動に積極的に取り組みたいと考えております。また、まちかど博物館などとの共同展も想定しています。
126	連携	まちかど博物館との情報共有やお互いの貸し借りも考えて頂きたい。	B	
127	連携	新しい博物館ができるのだったら、まちかど博物館400館の活動の拠点になるようにスペースをつくってほしい。協力してイベントをしたり、会議もそうだが、今そういうことはほとんどなされていない。もう少し、そのほうの指導なり、協力をいただけたら、もっと、文化活動は地域に根ざしたものとなると思う。	B	

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
128	連携	私立の博物館では活動に限界があり苦戦しているので、新博物館として応援してもらいたい。	B	県立の博物館として果たすべき役割であると考えています。県内博物館と協議しながら、連携を図っていきます。
129	連携	企業をもうちょっと中に入れて、運営も企業の力を借りて、企業のPRだとか、人材育成とか、教育にも使えるようなものがないかと思っている。	B	企業との連携も重要な視点と考えています。三重の自然と歴史・文化の資産の保全と活用という観点から、ご提案をふまえた展開を検討していきます。
130	連携	産業振興などに関係する部署と連携した取組を行って欲しい。	B	
131	連携	企業の施設の利用、展示物とかの資源の利用、そういうものによって収益を上げるような機構をつくって欲しいという前回の主張が生かされている計画なので、非常に評価している。	B	
132	連携	斎宮博物館等の資料との関係なども、どういふうにしていけるのか教えて欲しい。	A	斎宮歴史博物館については、調査研究活動、収集保存活動、活用発信活動などの博物館活動全般において、それぞれの専門性に基づく役割分担を行うとともに、県立としての博物館機能を効果的・効率的に発揮できる連携体制の構築に取り組んでまいります。
133	連携	斎宮歴史博物館は埋蔵文化財センターと併設してスペースの面からも失敗したと思う。新博物館(総合博物館)と斎宮とのすみわけも考えてほしい。	A	
134	連携	各市町村に文化団体があると思う。そういう文化団体と十分連携を取ってもらって、その文化団体がいろいろな行事を進めていくとき、サブ的に博物館が回っていくという方法もあるのではないかと思う。インターネットや県の広報・テレビ等で行事日程等のガイダンスをすることもできるから、そういうものを有効に利用してもらえばよいと思う。	B	博物館の運営では、地域の諸団体や他の文化振興拠点など、多様な主体と連携し、さまざまな力を結集・総合化することで、より充実した魅力的な博物館活動を幅広く展開しますとしています。ご意見を参考に、今後具体的な内容を検討していきます。
135	連携	連携企画というところに私たち(市町)は期待している。	C	市町の行政関係機関との連携活動の展開については、今後、協議・調整を重ねて具体化していきます。
136	施設計画(敷地、建築)	鉄道を利用していく人の面をもう少し考え、アクセスを整備・充実してもらいたい。	C	アクセスについては、誰もが使いやすいよう、また、公共交通機関の利用促進による環境負荷軽減の意味からも、利便性が良くなるよう努めます。具体的な内容については、わかりやすい誘導標識の設置などもあわせて、今後、関係機関と検討します。
137	施設計画(敷地、建築)	徒歩で25分はいかかかと思う。公共施設を利用するために公共交通機関を利用促進するというUターン制度(ポイント制度?)まで検討するのかどうか。	C	
138	施設計画(敷地、建築)	中勢バイパスからのアクセスは非常にわるいので、面的な交通整備もやっていただきたい。	C	
139	施設計画(敷地、建築)	やはりメインの博物館に行くのが一番いいのではないかと思う。ちょっと頭をひねっていただいて、東紀州から博物館へのバスを出すとか、いろいろな計画を考えていただきたい。	B	
140	施設計画(敷地、建築)	ユニバーサルデザインをやるのであれば、身障者を委員に入れて、身障者の視点で検討することが必要である。それも、どちらかに偏ることなく、中立な立場の人を選んでほしい。	B	新博物館は、ユニバーサルデザインに配慮し、すべての利用者が安全で快適に利用できるよう進めていきたいと考えています。具体的な内容や進め方については、設計段階で検討します。
141	施設計画(敷地、建築)	100年持つような耐久性のある施設にしてほしい。	A	自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承する場としての性格をふまえ、堅固な構造や必要な設備をもつ施設とします。また、計画的で適切な維持管理により、施設の長寿命化や修繕費を含むライフサイクルコストの軽減をめざします。
142	施設計画(敷地、建築)	防災の立場で考えると、地震が来ても資料が大丈夫なように、また、120億円もかかるかわからないが、立派でなくてもよいので中身を充実させ、貴重な資料を維持できる建物にしてほしい。	A	

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
143	施設計画(敷地、建築)	大規模な地震時に文化的な遺産を守る、もしくは修復するというシュミレーションをどこまでしているのか。	B	
144	施設計画(敷地、建築)	博物館自体も三重県のアイデンティティの対象になるくらいの建物にしてほしい。	B	建物のデザインや動線、配置、面積など施設の具体的な内容については、博物館に必要な機能やコストなどを考慮しながら、設計段階で設計者とも協議しながら、検討します。
145	施設計画(敷地、建築)	建物は、できるだけ効率的な、入館者が喜ぶものにしてほしい。	B	
146	施設計画(敷地、建築)	建物も品物の流れやいろいろな処理をする方法も検討されたいと思う。	B	
147	施設計画(敷地、建築)	建築は、コンセプトを具象化できる建築家を選んでもらいたい。	B	
148	施設計画(敷地、建築)	ハードの話題性、ソフトの話題性、中身の話題性、それがマッチする構成をしっかりと考えてもらいたい。建物のデザインで話題になったが使い勝手が悪いなど、デザインと中味がマッチしていないところが非常に多い。	B	
149	施設計画(敷地、建築)	県総合文化センターとの連携、利用方法を考えれば、スペースもむやみに増やす必要は無いと思う。	A	諸室の検討にあたっては、県総合文化センターの施設の有効活用を十分考慮しながら効率的に整備する旨の記述を追記しました。
150	施設計画(敷地、建築)	環境に配慮し、自然を利用した施設にしてほしい。	A	新博物館は、自然エネルギーなどを利用し、環境への負荷が少ない施設、環境保全の大切さを発信する施設とします。
151	施設計画(敷地、建築)	施設面で女子トイレを多くお願いしたい。年配の方のご来館も多いかと思うので、部屋を出て廊下に椅子を設けるのではなく、その展示の中にも椅子を多く設けていただきたい。	B	女子トイレについては、ご意見をふまえ、今後設計段階で検討していきたいと考えます。休憩スペースについては、適切に設けるよう、計画の記述を修正しました。
152	施設計画(敷地、建築)	おいしいお店には女性の方が集まるので、食事の面についても考えていただけたらと思う。	C	県民・利用者みなさんが、博物館で長時間ゆっくり、楽しく過ごせるよう、休憩スペースでの飲食を可能としたり、飲み物や軽食などの販売を行ったりすることを検討します。その具体的な内容については、博物館の活動内容や周辺施設とのバランス、県総合文化センターのレストランとの関係、運営内容などを考慮しながら検討していきたいと考えています。
153	施設計画(敷地、建築)	場所が県総合文化センターの近くということで、不便である。これから年を取り、車で行けなくなり、バスも不便なので、駅の近くに建ててもらいたいことを希望する。	D	昨年度策定しました「新県立博物館基本構想」にも示しましたとおり、立地場所については、図書館、美術館、文化会館などの県の文化振興拠点との連携、アクセスの利便性、用地取得の可能性に加え三重県の人口重心(総務省統計局)から、県総合文化センターの南東側としています。
154	施設計画(敷地、建築)	もっと違う場所に建設すること検討すべきではなかったか。初めから津にありきかなと思った。	D	なお、公共交通機関を用いたアクセスの利便性向上については、今後とも関係機関等と協議や検討していきます。
155	施設計画(敷地、建築)	建設予定場所について、総合文化センターの駐車場はイベントがあるときなどには一杯で、十分に対応利用できない。山を切り開いてつくるのはどうなのかなと思うし、利用の中心は車であると思うので、もっと郊外に、三重県の中心地点であれば松阪市とかそのあたりに、広い駐車場を持った施設を建ててもいいのではないかなと思う。	C	

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
156	施設計画(敷地、建築)	駅の近くでは車で行くことができなくなると思うので、県総合文化センターのあたりに建てることは、大いに結構と思う。	A	ご意見をふまえ、館へのわかりやすい標識設置なども検討し、より充実した施設づくりに努めていきます。
157	施設計画(敷地、建築)	地方分権になると活用の方が地方に移るため、各地方の文化の代表になる博物館を分散して建てるべき。	D	現在の県の財政状況から考えて、県が各地に博物館をいくつか作ることは困難と考えます。ご理解をお願いします。なお、県内博物館のネットワーク構築の推進をはじめ、館内のみならず県内の各地域に活動や交流を広げていくことにしています。
158	施設計画(敷地、建築)	三重県で淡水域を持っているのは伊賀だけであり、三重県のなかで特徴的な面があり、博物館には伊賀分館、分室を作ってほしい。また、学校の子供達も自然について学習するのに、臨海実習ができるよう、博物館分室として、志摩市に臨海実験の場所を作ってほしい。	D	
159	施設計画(敷地、建築)	三重県の森林の木を使ってつくったらコストダウンを図れるのではないかな。	B	基本計画では、木材の効果的な利用や、県産材の積極的な活用などにも配慮し、また、コストダウンについても検討することとしており、具体的な内容は、設計で検討します。
160	施設計画(敷地、建築)	博物館は収蔵も大事だが、人に見ていただいてこそ価値があると思うので、展示スペースの充実をお願いしたい。	C	新博物館が基本計画でお示した「ともに考え、活動し、成長する博物館」を実現するためには、交流創造、展示、収蔵、調査研究の各エリアがバランスよく機能する必要があります。それらの機能を最大に発揮することで、新博物館がめざす活動が実現できるよう努めていきます。
161	施設計画(敷地、建築)	高圧の電線があると言うことで、建築制限もあるが、心理的な圧迫感、電磁波の関係も気になるので、そのあたり、どのような建築になるのか、影響がないか心配。	B	ご意見をふまえ、今後、設計を進める上で、建物(屋根)から高圧電線までの距離を十分とることや、建築予定地の電界磁界強度を測定し、基準値や博物館内で使用予定の機器への影響を確認することなどにより、博物館活動に支障がないように配慮します。
162	運営計画	三重は南北に長くアクセスの問題がある中で、リピート客をどのように増やしていくのか。	B	三重の魅力をフレキシブルに組み合わせるテーマ展示など変化のある展示や移動展示、新しい発見、驚き、知的な好奇心へと誘う場となる交流創造エリアの設置など、リピート客を増やすよう工夫をします。また、他の博物館などと連携した博物館見学ツアーや共通利用券の発行など、県民・利用者のみならずの博物館管理用を広げるサービスを検討します。
163	運営計画	ランニングコスト10億円を入館者数でまかなえるのか。入場料や入場数の予定、あるいは他のイベントの収入とかの収入計画はあるのか。	C	新博物館は、三重の未来を創造するための投資と考えており、みなさんの自己実現、子どもたちの育成などを支援していくものです。想定するランニングコストには、整備にかかる県債の償還が5.5億円含まれていますが、営利を目的としない公立の博物館は、入館料だけでまかなうことは難しいため、国や関係機関等の補助制度の活用や民間からの寄付金など多様な資金調達を工夫します。新博物館の入館者数については、他県の例や新博物館の特色を加味して、目標を15万人としています。入館料や資金調達方法などの検討をふまえ、早い段階で収入に関する計画を明確にします。
164	運営計画	新しい博物館を長く続かせるためには、利益を上げる方向に持って行くことが大事である。	C	
165	運営計画	学芸員体制は、少なくとも琵琶湖博物館ぐらいの外国人も入れた体制としてもらいたい。また、外部の人を嘱託研究員とすることも考えてもらいたい。	B	学芸員については、自然系・人文系の各専門分野や各分野を横断する総合的・学際的な分野などを配置することとしており、他館などの人事交流や研修などを通じて、継続的に能力・資質の向上を図って

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
166	運営計画	正確な知識(情報)がわかる博物館となるよう学芸員を配置してもらいたい。	B	いきます。また、県内外の博物館や大学、研究機関などから共同研究員や客員研究員を受け入れ、連携体制での活動を展開できるしくみづくりを検討します。なお、具体的な内容については、今後検討し、できる限り早い段階から計画的に職員の配置を行っていく必要があると考えています。
167	運営計画	運営するスタッフ全員がキーになるので、同時並行的にそういった構想を練っていただきたい。	B	
168	運営計画	学芸員はどういう専門家を、どれぐらい入れる予定なのか。	B	
169	運営計画	具体的な検討に県民の意見を取り入れるのはもちろん、館ができてから活動していく学芸員などの意見を聴くべきであり、学芸員の採用も来年度から始めるべきである。	B	
170	運営計画	現博物館の学芸員数は少なすぎる。歴史学や考古学などを学んだ若い人の雇用の場としても、専門職員としての学芸員の充実をお願いしたい。	B	
171	運営計画	今の博物館は、会の講師等も、ほとんど外部のスタッフに頼っており、また、博物館の学芸員と外部の専門家の立場がひっくり返っているような状況になっている。県民や利用者が、学ぶ充実感や、知的好奇心を育むとか、自己実現を図るという目標が掲げられているが、特に指導員についての現状は、それからは程遠い印象がある。 専任の職員、学芸員を採用し、充実した学芸活動ができるよう、環境・装置などの面も含め、整備を進め、博物館が強力なリーダーシップを発揮して、文化発信の中心となって学芸活動ができる環境をぜひ整えてほしい。	B	
172	運営計画	公設公営一部民営は納得できない。どちらかという文化施設はコストセンター(利益を創出しない組織)だと思っているが、プロフィットセンター(利益に責任を持つ組織)という考え方を本当に外していくのかどうかをきっちり議論して頂きたい。	C	
173	運営計画	館長を公募という方法も考えてもいいと思う。館長の理念に共鳴してやっていこうという力強い指導力がないと、魅力がない博物館を生むと思う。	B	館長は、高い専門性と経営感覚を持ち、リーダーシップを発揮して、総合的に博物館活動をマネジメントできる人材を配置する必要があると考えています。ご意見を参考に、今後こうした人選を十分に検討していきます。
174	運営計画	館長を誰にするのかは非常に大事なことです。公から来るのか、それとも民間の方が来るのかで、全然違うと思う。基本計画ではそれについて言及する必要がある。	B	
175	運営計画	オープニングの時に博物館はおもしろいと思われるように初めからやらないといけない。そのためには、今やっていこうという気持ちのある人を抽出するプロジェクトを立ち上げることが大事と思う。	C	ボランティアや友の会をはじめとした協力支援組織や運営協議会のあり方や専門的な知識や技術を持ち、博物館の調査や研究などの活動に参画する県民・利用者である県民学芸員(仮称)の設置について検討します。あわせて多様な専門分野に対応できる職員を配置します。
176	運営計画	博物館事業は著作権収入であるので、属人情報が価値を持っている。だから学芸部門を民営化してほしい。収益というのは民営化した部分から得てほしい。	C	新博物館の活動方針・内容に大きく影響する学芸業務については、県直営とすることにより、県の方針を反映し、県施策と連動させやすくするとともに、三重県の資産の保全・継承、活用、公文書処理などに関する専門性やノウハウ・技術等を蓄積して責任を担保することが可能と考えています。基本的な事業スキームは、今回の検討結果のとおりとした上で、県総合文化センターとの連携に配慮しながら、今後引き続き幅広い検討を行い、民間活力の導入をはかるなど、より効果的・
177	運営計画	学芸部門こそ民間の力を入れられないといけないかと思う。連携や共存といっている言葉はよいが、新しい博物館ができてからというのではなく、今の県の直営でやっているところでできないのはおかしいと思う。	C	

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
178	運営計画	直営方式というのを守っていただきたいと思います。	B	効率的な運営のために体制や環境の整備を進めます。
179	運営計画	開館時間をもう少し弾力的にして、利用しやすいようにお願いしたい。	B	だれもが気軽に利用できるよう、県民、利用者の立場に立った開館日時を検討していくこととしています。具体的な開館時間等については、今後検討していきます。
180	運営計画	開館時の利用者数をそのまま維持できる博物館運営をしていただきたい。一番大事なのは、利用者側に立った考え方です。	C	博物館の活動・運営内容や施設などを、県民・利用者とともに継続的に点検・評価し、ともによりよい博物館をつくり上げていくしくみを検討していきます。
181	運営計画	パロメーターは入館者・利用者なので、つまらないところには来ない。わくわく感やどきどき感がないと来ない。	C	
182	運営計画	現博物館の入館料は安くて疑問だ。県民・市民の税金を使って現博物館の建物が維持されているのなら、入館料をあげてもいいのではないが。	C	基本展示・テーマ展示の観覧については、現博物館などと同様、原則的に有料とする方向で検討しますが、有料とする範囲や料金については、今後、県その他施設の状況等をふまえて検討します。また、多くの人に、気軽に繰り返し利用していただけるよう、交流創造エリアをはじめ、無料で利用できるスペースを十分に確保します。
183	運営計画	できれば、全部無料にして欲しいが、展示室は有料にならざるを得ないとしても、交流創造エリアや講演会・講座など交流、勉強の場所は無料にして欲しい。	A	
184	運営計画	学芸員などがきちんと仕事をできるよう、条件を良くして、あこがれの職種となるようお願いしたい。	A	調査研究活動については、学芸員など専門職員を研究職として位置づけし、それにふさわしい勤務環境を整える必要があると考えています。
185	運営計画	この学芸員と事業をやる人を兼務するなど、やりくりで苦労して、こういう形で考えているのかもしいが、果たしてこれでいいのか、ちょっと心配だ。それぞれの役割をきちんとこなしたほうが、いい仕事ができるのではないかなと思う。	D	新博物館においては、調査研究活動と展示や講座などの事業は、別個に行わず、あらゆる博物館活動の根幹となる調査研究活動の成果をそれらの事業に生かして推進することとし、不可分のものであると考えています。新博物館では、組織体制にもそのことを反映させることにより、このような考え方に基づく博物館活動を着実に展開させていきたいと考えています。
186	運営計画	(まちかど博物館など)一般の私設の博物館の方ができるだけ入っていただいて、あまり固定しないで、どんどん手を替え品を替え、真新しい形で永続して運営していただければと思う。	B	テーマ展示の中で、まちかど博物館との共同展を開催することや、県民・利用者のみなさんの立場から、博物館の活動・運営内容などに関する指導・助言を行う運営協議会の設置について検討します。
187	運営計画	何か目標にするような博物館があったのか、なかったのか。どのぐらいの年間入館者数を目標にしているのか。	A	琵琶湖博物館の「はしかけ制度」をはじめ、他県博物館の自然環境を保護する活動、地域の郷土史を学ぶなどの先進的な取組を参考にしました。新博物館の入館者数については、「附属資料」の「資料3 新県立博物館基本計画の関連調査の概要」 集客予測調査～新博物館の入館者推計～にありますように、他県の例や新博物館の特色を加味して、目標を15万人としています。
188	運営計画	目標が琵琶湖博物館と言うなら、10万人目標でなく、20万人くらいにしてほしい。活気がある博物館になると思う。	A	
189	管理運営・事業費	情報発信だとか、情報交流の起点とする以上は、その広報活動などのコストはかかるので、最初から予算を切られるのは承服できない。	B	広報活動については、広域のメディアを使った広告等に対して十分予算を充てることは難しいなかで、開館時期を平成26年にすることなどメディアなどに取り上げられる工夫をするとともに、広報においても、協創の博物館にふさわしい方法で進めていくなど工夫をしていくよう考えています。

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
190	管理運営・事業費	行政の姿勢をもっとはっきり明確に出して予算をつけてほしい。	C	「三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代へ生かす」、「学びと交流を通じて人づくりに貢献する」、「地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する」など3つを新博物館の使命としています。なお、博物館の整備事業費は約120億円、管理運営費は年約10億円と試算しています。
191	管理運営・事業費	活動するときに必要な備品や消耗品などへの配慮や地域での調査活動で公民館などを借りるときの費用などが保証されれば、よりすばらしいことができると思う。	C	基本的に、1団体への調査費の助成等は難しいと思われませんが、協創で進める博物館として、県民・利用者が活動を行う場所の提供や地域で調査研究をする際の場所を準備するなど、協力や支援の方法などを検討していきたいと考えています。
192	管理運営・事業費	事業費は、土地を含めての金額だから、建物が小さいかなと思う。120億といっても、30年と考えた時に年4億円、187万人の人間で割ると240円、これが大きいのか小さいのか、この判断だと思う。建物が小さいので、収蔵や展示エリアが小さい。	B	厳しい県財政の状況ではありますが、未来への投資として、できるだけ効率的、効果的な建物を整備し、最大限の効果を発揮して、館外の施設やフィールドなども活用しながら、基本計画に示した活動を進めていきます。
193	管理運営・事業費	120億の事業費は自信を持って出して欲しい。赤ちゃんから年寄りまでが使うと思ったら安いものだ。それだけのことを博物館は提供できる。一生にわたって提供できる、というものを打ち出してほしい。	A	
194	管理運営・事業費	楽しみな部分がある一方、この財政がすごく厳しいときに、120億円という多大なお金を使って、今つくらなければならないものなのかなということ、すごく懸念する。	D	
195	管理運営・事業費	総額どれくらいを見込んで、運営はどれくらいの利益を得ながらやっていけるのか。あるいは、収支がマイナスでも博物館をやっていかなければならないのか。	E	年約10億円のうち、運営・維持管理で約4億5千万円、残り5億5千万円は地方債の返済に充てます。整備費の120億円の約7割は地方債とすることで、今の世代だけではなく、将来の世代世代も一緒に分擔していきます。入館料等の収入計画は、今後明確にしていきますが、営利を目的としない公立の博物館においては、利益を出すことは難しいため、限られた財政状況の中でより効果的、効率的な運営をめざします。
196	管理運営・事業費	第1期で終わってしまうのではないかなという心配をしている。	E	収蔵庫が、ほとんど第2期の増設分だと考えていますので、今後、収蔵庫の状況、あるいは博物館の活動状況、県の財政状況にもらみながら、第2期の整備に入っていきたいと思っています。
197	管理運営・事業費	何度もこういう計画が出ては駄目になって残念だなと思っていたので、まず何とか実現してほしいなというふう思う。	A	実現に向けて取組を進めていきます。
198	検討体制・スケジュール	検討部会は、偉い先生方ばかりで一般者が入っていないが、これで本当に県民の声が吸収できるのか。	B	新県立博物館検討部会委員については、附属資料 資料4「新県立博物館基本計画」の策定経緯 参考2 に掲載しています。委員には、自然、人文、建築分野の専門家をはじめ、他博物館の学芸員、地域と博物館の連携事業を進めている方、博物館の体験展示を企画、実施している方、NPO代表者、学校教育関係者なども含まれています。今後、具体的な検討にあたっては、専門家や県内の団体、県民のみなさんのご意見をお聴きしながら博物館整備を進めていきます。
199	検討体制・スケジュール	検討委員会の自然部門は3名しか入っていないが、もっと現場に強い人を入れる必要がある。	B	

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
200	全般	地元の声も聞いてもらって、地元が喜ぶ博物館であってほしい。	B	新博物館は、県民・利用者とともに博物館を作り上げていくこととしており、建設の際にもできるだけ、地元をはじめ県民・利用者や機関・団体のみなさんご意見をお聴きしながら進めていきたいと考えています。
201	全般	進める際に、地元に対して「こういう方向でいきたいと思うがどうだろうか」というような姿勢でお願いしたい。	B	
202	全般	今まで、総合博物館としてやってきた現博物館は、今回の基本計画のやり方とどう違うのか。今までこういうようなことをやってきて、これとこれと、新たに付け加わる。つまり、今までやってきた実績についているいる勉強すれば、皆さんの意見を聴かなくても分かるはずだ。	D	現博物館は老朽化が著しく、スペースも小さいうえに、耐震上の問題があり、展示を閉鎖するなど、あらゆる機能が十分発揮できない状況です。これまで現博物館が蓄積したものを新博物館に引き継ぎながら、今にふさわしい博物館として追加すべきものを加えた、新博物館の姿を基本計画に表しています。今後も、「ともに考え、活動し、成長する博物館」として、県民・利用者のみなさんご意見を伺いながら博物館整備を進めていきます。
203	全般	今までの博物館とどう違うのかよくわからない。120億円かけるのなら、既存の122館の県内博物館へ年100万ずつ使うなどするほうが、有効な気がする。何の目玉もないような箱物に120億も使っているかどうか、ちょっと疑問に思う。	D	
204	全般	「学びと交流を通じて人づくりに貢献する」「地域への愛着と誇り」は、(現博物館で)すでにやっている。ITを活用すれば情報は得られる。効果がはっきりわからない博物館への投資は不要。	D	インターネットを活用して、館外から資料の検索や写真・映像資料の閲覧ができるようにするとともに、県内博物館等との連携・ネットワークの構築と活用を進めることにより、県全域がまるごと博物館となるような活動をめざします。また、インターネットでは体験できない、実物(モノ資料)を使った体験展示や野外展示なども計画しています。
205	全般	現博物館は、展示はしていないが、職員はよくやっている。ただ、ハードはいけない。	B	今後、活動内容及び施設の両面から充実した博物館の整備を進めていきます。
206	全般	ギスギスした社会になっており、文化振興は大切である。最高の施設としてもらいたい。	B	このように先行きの見えない不安な時代こそ、文化と知的探求の拠点として博物館の存在意義があります。ご意見をふまえて、今後の検討を進めます。
207	全般	どうせ造るので有れば、一流、一級のものとして、生き続ける博物館としてもらいたい。	B	県立の施設としての役割を果たし、持続的に成長する博物館をめざします。ご意見をふまえて、今後の検討を進めます。
208	全般	基本計画の記述が難しい。とっかかりの部分で、利用者の視点が薄いと思う。どれだけ利用者の視点を具現化していただけるか期待している。	A	施設や活動内容がイメージできるようイラストを加えるなど工夫しました。
209	全般	具体的に何を言っているのかわからない。どういう人達をターゲットにして、何を売りにして、どうするのかというイメージをはっきり決めてその方向性を持って来て欲しいと思う。	A	
210	全般	三重県まるごと博物館という言葉は好き。みなさんが携われるような情報発信の起点であってほしいし、研究の中心的な礎になってほしい。そういうものをつくってほしい。	A	ご意見をふまえて、今後さらに検討を進め、具体化していきます。今後とも、県民のみなさんご意見をお聴きしながら、新博物館の整備を進めていきます。
211	全般	一般の方で今日は博物館を見に行こうかという人に足を運んで頂けるような施設づくりをがんばって欲しい。	E	ご意見をふまえて、今後の検討を進めます。
212	全般	基本計画がなされていよいよ目の見たとということで、非常に喜んでいる。	E	県民のみなさんにとって、愛着がもてる魅力的な博物館づくりを進めていきます。

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
213	全般	博物館は利益を目的にするのではないが、出来るだけ経費を抑えるためには、直営の学芸員しかないと思う。いろいろな地域の人をうまく使うことが大事。なんでもかんでもやるのではなく、自分からやるという知識を持ったサポートスタッフを大いに利用してはどうか。サポートスタッフの盛り上がりで情報発信し、地域で宣伝するという博物館でありたい。	A	博物館の基幹的な業務(学芸業務、総務、企画調整業務など)については、県直営で行うこととし、一部業務を指定管理者に委託する方向とします。また、「みんなの博物館サポートスタッフ」などの取組については、新博物館における協創の活動につなげ、発展させていく予定です。
214	全般	『広辞苑』の役目が博物館にはある。	A	専門職員による専門的かつ幅広い知識と経験に基づく活動を、将来にわたり持続的かつ着実に進める予定です。
215	全般	魅力ある博物館にするためには、企画を魅力のあるものにしてほしい。	A	学習交流プログラムやテーマ展示などを通じて、魅力的な活動を進めていきたいと考えています。
216	全般	県総合文化センターと博物館の違いがわからないので、これ以上建物を建てるよりも、残っている自然の状態を残した方が県民・津市のためになるのではないかと。本物を残さないと意味がないので、博物館の中心はそこ(本物のある場所)に置いてもらった方がよい。	D	新博物館の建設にあたっては、できるだけ敷地の自然環境の保全に努めるとともに、残存した里山林については自然観察や里山保全・再生活動の場として活用する予定です。
217	全般	全国から多くの方をお迎えすることがあったが、三重県を知ってもらうのがなかった。鈴鹿サーキットなど娯楽施設のようなものが、いかにも三重県の看板であるかのようなこともあったので、博物館が建つということをとて楽しみにしている。	A	今後とも、三重を発信する「文化と知的探求の拠点」として、県民のみなさんのご意見をお聴きしながら進めてまいります。
218	全般	廃れていく、うずもれていく文化自体を保存するという機能は必要であるが、その他は、博物館に行かなくても、自分の町には自然学校があるので、いろいろできている。あったらいいなというように感じて要否を判断してはいい。よく吟味した上で、本当に120億円をかける価値があるのかどうかで判断する必要がある。掘り出した文化財を保存しておくことは絶対必要だという人は多いが、あとは、そういう文化自体をどのように皆さんにその情報を公開していくかということである。	B	新博物館は、三重の未来を担う子どもたちの育成の場となる役割を果たすことを使命の1つとしています。また、三重の自然と歴史・文化に関する資料を保存することとあわせ、その活用と発信について、重視した活動を充実強化していくこととしています。
219	全般	気軽にに行けるイメージ作りとして、サブネームをつける。サブネームは、ひらがながよい。	A	新博物館の名称については、今後、県民・利用者から愛称を募集することも視野に入れて検討します。
220	全般	私の期待している博物館と基本計画の目指すところが同じで嬉しい。基本展示の案は三重のことがよくわかってよい。	A	基本展示については、基本設計で、より具体的に充実した内容にしていくこととします。
221	全般	参画しやすい、利用しやすいような敷居の低い、一般の家族連れでもすっと入れるような、魅力のある博物館をつくってほしいと思う。	A	交流創造エリアも生かしながら、学芸員なども、積極的に展示コーナーや交流コーナーに出てきて顔の見えるようにし、気軽に相談に応じたり、解説したりするような、気軽に行けるような、親しみやすい博物館づくりを進めていきます。
222	全般	いろいろなことが盛りだくさんになるので、ごちゃ混ぜになってしまうのではないかなというのを、ちょっと心配しながら、でも、楽しみでもある博物館になるのかなと思う。	E	多様な機能が相互に関連しあい、十分生かせるような博物館となるよう今後の検討を進めていきます。
223	全般	腰折れになっていくのではなく、県民もみんな同意して、県民の意見を聞く会も開いてもらっているのだから、120億円掛かるか分からないけれど、ぜひ推進してもらいたい。	E	今後とも県民・利用者のみなさんとともに、未来への投資となる博物館づくりを進めていきます。

県民意見交換会当日の意見・提案 「新県立博物館基本計画」への反映状況・考え方

番号	事項	内容(意見、質問等)	対応	具体的な反映状況・考え方
224	全般	三重県民に限らず、いろいろな分野の情報の提供、それから博物館としての情報の収集、その相談などが気軽にできて、気軽に入館できる施設を目指していると思うので、ぜひ、その辺のことを開館後も貫き通していただきたい	A	基本計画にお示した内容を着実に実現していけるよう取組を進めます。
225	全般	利用しやすいような博物館でいてほしいと思う。「分からないことはけんぱくへ、分かったこともけんぱくへ」は、いい言葉だと思うのだが、こんなのをつくりたい、こんなのをやろうという意見も、これだけのメンバーではなくて、もっとたくさんの人に聞いて、そういう声を盛り上げていかなければいけないのではないかという気がする。	A	県民・利用者みなさんが気軽に訪れ、主体的に利用できる博物館をめざします。今後とも多くの人に関わっていただき、ともに考え、活動し、成長する博物館づくりを進めます。
226	全般	三重県は、北から南に非常に細長い県でもある。海はある、山はある、自然が多様な県で、また神宮があるとか、歴史的、文化的な経緯にしても多様な県であるので、基本計画にまとめているような方向に推し進めていただくのは、非常にありがたいと感じている。	A	ご指摘のような、三重の多様性については第2章 2-1 テーマのところで記述したとおりです。今後とも、協創の視点で県民のみなさんのご意見をお聴きしながら、博物館整備を進めていきたいと考えています。
227	全般	博物館が、県民にどうだから有意義なんだというところを、端的にどうアピールしていくのか。	B	今後基本計画の内容を具体的にわかりやすくまとめたリーフレットやシンポジウム等を開催することにより、県民のみなさんの理解を得ていくこととしています。
228	全般	県民一人ひとりにどのように伝えていくかが大切。なるべく足を使って広く、博物館ができたと広める取組が必要。	B	ご提案のとおり今後県民のみなさんの理解を得るよう広める取組を進めていきます。
229	全般	三重県らしさと言うか、ほかの県からも、ぜひ行ってみたいなというような、観光スポットになるような博物館をつくってもいいと思う。	A	観光に訪れた方にとっても、魅力的な活動をめざすとともに、三重の魅力を伝え、全国にも発信するような博物館づくりを進めていくこととしています。
230	県民意見交換会の進め方	意見交換会はもっときめ細やかなやり方を期待していた。話し合いの場は今後設けられるのか。	B	今後、博物館整備を進めるにあたり、協創の視点で、県民のみなさんの意見をお聴きしながら取り組んでいきたいと思います。
231	県民意見交換会の進め方	博物館の建設ありきの意見交換会ではなく、その必要性から議論すべきである。	B	今年度は、平成19年度に策定した「新県立博物館基本構想」に基づき「新県立博物館基本計画」を策定するものです。当意見交換会の開催は、建設が前提ではありません。これからも県民のみなさんのご意見をお聴きしながら進めていきます。